

あ い さ つ



教育長 佐藤 秀美

令和6年度教育要覧「福島市の教育」の発刊にあたり、ごあいさつを申し上げます。

皆様には日頃から本市教育行政の推進に格別なるご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

本市では、「子育てと教育で選ばれるまちづくり」の実現に向け、学校教育の質向上と学びの環境の充実を図る取り組みを進めています。

まず、学校教育の質向上については、指導者全員に専用端末を配置し、福島型オンライン授業における教員の指導力向上を図るとともに、本市ゆかりの著名人や地元企業と連携した特色ある教育として、スポーツや文化芸術など特色ある教育事業を実施し、個性を伸ばす質の高い学校教育を展開しています。

また、今年度は新たに、日本語の理解が困難な外国人児童生徒に対し、教員免許を持つ日本語指導コーディネーターを2名配置し、特別の教育課程による日本語指導を行い、児童生徒の学校生活や学習の支援を実施しております。

次に、学びの環境の充実については、本年4月に東北では2番目、県内では初となる公立夜間中学「天神スクール」を開校しました。10代から80代までの幅広い年代の入学生の中には、外国にルーツを持つ生徒や市外から通学する生徒もおります。習熟度別の学習支援や一人一人に寄り添った教育相談など「オーダーメイドの教育」を行い、多様性を象徴した校名ロゴにふさわしい学び直しの機会を提供してまいります。

また、本市初の義務教育学校として、令和7年4月に松川地区に開校予定の「松陵義務教育学校」の準備を着実に進めているほか、中央地区の小学校の再編についても、有識者等による検討会を立ち上げ、再編の在り方はもとより本市の小学校教育を先導するモデルとなる学校像や不登校支援の充実策についても議論しているところです。

生涯学習・社会教育については、中央学習センターの移転に合わせて、これまでの申請方法と使用料の見直しを図り、より充実した活動が行われるよう努めてまいります。

全国的に大きな社会問題となっている教職員の働き方改革については、その目的を子どもたちに「質の高い学び」を提供することと「持続可能な学校」を実現することと定め、新たに「教職員の働き方改革推進パッケージ」を策定しました。授業時数の見直しや評価2期制、留守番電話対応の導入に加え、ICT活用による一層の事務効率化など、学校と教育委員会が一体となって改革に取り組んでいます。中学校部活動についても、部活動指導員の拡充に加え、7月から新たに市職員による部活動指導員制度を設けたところです。休日部活動の地域移行についても、種目を段階的に増やすなど、地域の各団体等と連携して進めてまいります。

本市教育委員会では、今後とも安全で安心して学ぶことができる魅力ある学校づくりを目指すとともに、市民一人一人が生涯にわたって生き生きと学べる学習機会の拡充と環境整備を推進するため取り組んでまいります。引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年8月

福島市教育委員会教育長 佐藤 秀美